特集 学生によるレポート 16

学生と統一 地方選案

若者の政治離れには議員にも問題があるのでは

グループ① 野口、堀脇、 小林、松本、福田、緒方、工藤、水本

政策をあまり出していない」などの意見がありました。そうして、更に若者の投票率 ない」、「選挙や政治に関する知識が不足している」、さらに「立候補者が若者向けの 若者が選挙に行かない理由として、「政治は難しい」、「投票したいと思える人がい

投票しなくても問題ない、と考えてしまう原因にも じられ、誰に投票しても変わらない、ならば自分が ニュフェストを掲げるという連鎖が起こります。 が下がり、候補者は投票率の高い年齢層に向けたマ のではないかと思います。少なくとも私たちには 「多くの立候補者は言っていることが皆同じ」に感 こうした現状には議員(候補者)にも問題がある

若者が面倒くさがらずに投票できるようにインター 員の情報や政治に関する知識を持つこと、そして他 ネット投票の実現も考える必要があると思います。 であると考えます。また、投票者を増やすためには 人事とせずに自分の意見を発信する勇気を持つこと 現状を変えるため若者に必要なのは、出馬した議

ネット投票などの参加しやすい仕組みを

見えてくるものはあるように思います。

への関わり方について、2グループで論議してもらいました。学生目線ですが いう状況になっているのでしょうか。今回は「社会調査法」の授業で統一地方選

選挙権年齢が18歳に引き下げられ3年目に突入しましたが、実際現場ではどう

グループ② 江河、桑原、土肥、中村、前田、龍、 岩岩

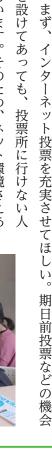
策を考えました。 どうしたら若者の投票率上昇が実現されるのか、私たちは次のような対

もいます。そのため、ネット環境さえあ を設けてあっても、投票所に行けない人

るのではと考えました。 を充実させると、おのずと投票率も上が れば投票できるこのインターネット投票

政治を身近に感じられるのではないかと 話すような機会を少しでも設けられれば、 だけでなく、住民に会ってありのままを なものとするため、議員側が訴えかける に係るものとするといいのではという意 最後に、幼少期から議会や選挙を身近 2つ目は、投票を大学などの単位認定

考えました。





選挙と学生の距離、その対策は?

(現代文化学部准教授

黄